

# 2022年3月期 決算補足説明資料

2022年5月12日

神戸電鉄株式会社

(東証プライム市場 9046 <https://www.shintetsu.co.jp/>)

◇注意事項◇

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
実際の実績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

# 目次

---

<b>I. 2022年3月期 決算概要</b> .....	P. 1
1. 2022年3月期 連結業績ハイライト .....	P. 2
2. 連結業績 セグメント別 .....	P. 3
3. 2022年3月期 連結貸借対照表 .....	P. 9
4. 2022年3月期 連結キャッシュ・フロー .....	P. 10
<b>II. 2023年3月期 業績予想</b> .....	P. 11
1. 2023年3月期 連結(通期)業績予想 .....	P. 12
2. 連結業績予想 セグメント別 .....	P. 13

# I. 2022年3月期 決算概要

---

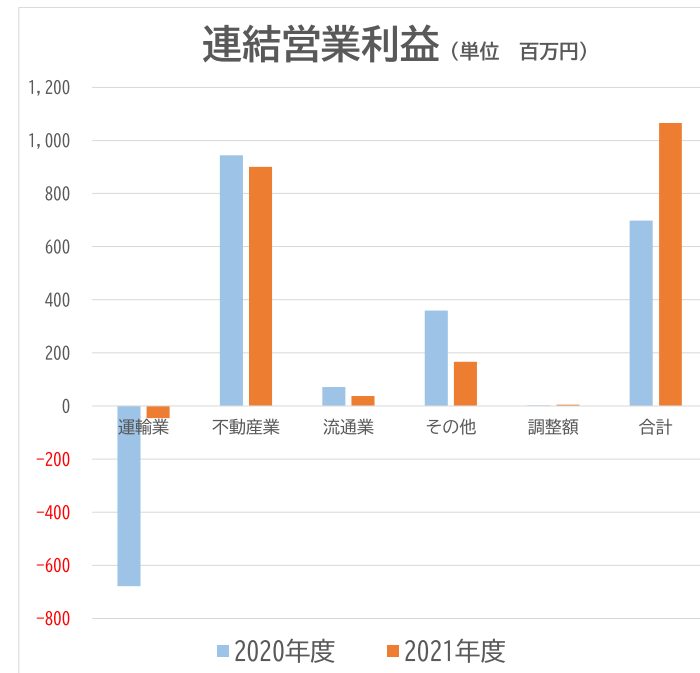
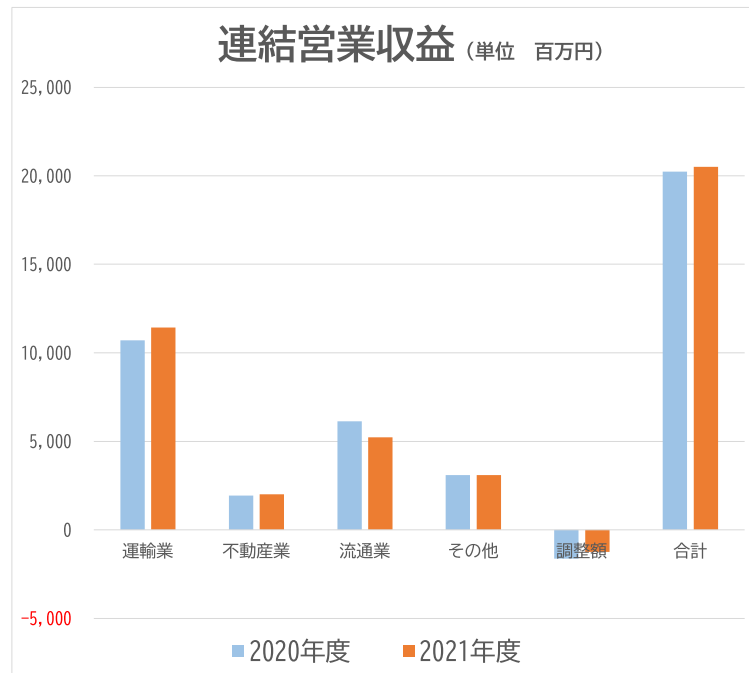
# 1. 2022年3月期 連結業績ハイライト

(単位 百万円)

	2022年3月期 実績 (A)	2021年3月期 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)	2022年3月期 前回予想 (2021年5月公表) (C)	増減額 (A - C)
営業収益	20,517	20,231	286	-	21,280	△ 763
営業利益	1,065	698	367	-	1,170	△ 105
営業外収益	325	483	△ 158			
営業外費用	738	811	△ 73			
経常利益	652	370	282	-	600	52
特別利益	466	1,074	△ 608			
特別損失	474	1,083	△ 609			
親会社株主に帰属する 当期純利益	519	187	332	-	500	19

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、増減率は記載しておりません。

## 2. 連結業績 セグメント別



(単位 百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	その他の事業	調整額	合計
( 営業 収 益 )						
2022年3月期	11,429	2,009	5,237	3,090	△ 1,249	20,517
2021年3月期	10,695	1,927	6,132	3,101	△ 1,624	20,231
比較増減	734	82	△ 895	△ 11	375	286
( 営業 利 益 )						
2022年3月期	△ 46	900	38	166	5	1,065
2021年3月期	△ 679	944	71	359	2	698
比較増減	633	△ 44	△ 33	△ 193	3	367

## セグメント情報(運輸業)

(単位 百万円)

	2022年3月期 実績 (A)	2021年3月期 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
営業収益	11,429	10,695	734	—
営業利益	△ 46	△ 679	633	—

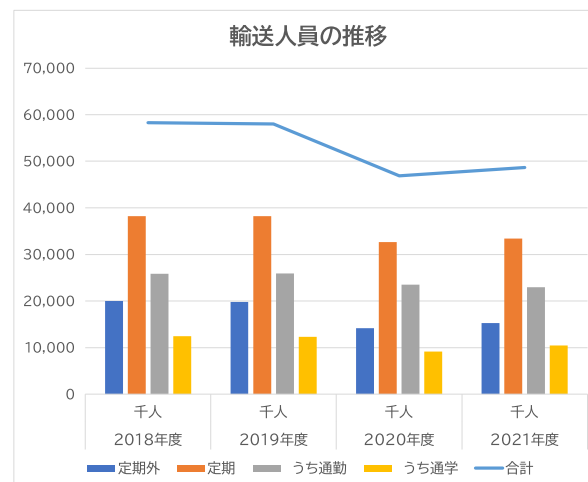
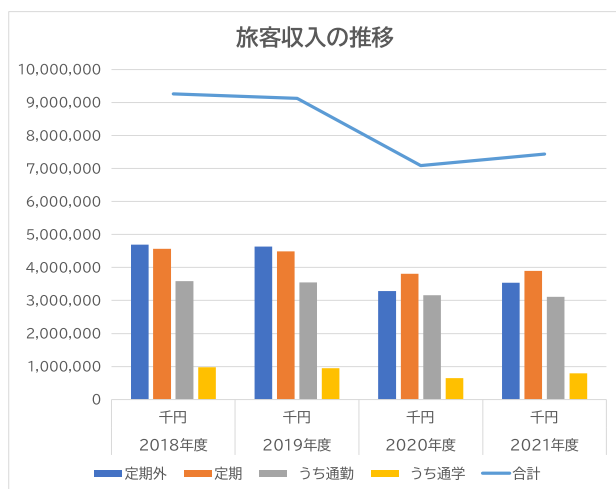
### (主な増減内容)

- ・鉄道事業は、前連結会計年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少はあったものの、営業収益は増収となり、営業損失は大幅に縮小しました。  
また、ダイヤ変更を2022年3月に実施しました。
- ・バス事業は、企業や学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を展開し、増収・増益となりました。
- ・タクシー業は、配車アプリやキャッシュレス決済の拡充を図るなど、増収に努めました。

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、増減率は記載しておりません。

## (運輸業) 鉄道事業 旅客収入及び輸送人員

	旅客収入				輸送人員			
	2022年3月期 千円	2021年3月期 千円	比較増減 千円	増減率 %	2022年3月期 千人	2021年3月期 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	3,538,612	3,284,240	254,372	7.7	15,254	14,185	1,069	7.5
定期	3,898,134	3,807,020	91,114	2.4	33,414	32,696	718	2.2
うち通勤	3,107,646	3,159,191	△ 51,545	△ 1.6	23,000	23,532	△ 532	△ 2.3
うち通学	790,488	647,829	142,659	22.0	10,414	9,164	1,250	13.6
合計	7,436,746	7,091,260	345,486	4.9	48,668	46,882	1,786	3.8



## セグメント情報(不動産業)

(単位 百万円)

	2022年3月期 実績 (A)	2021年3月期 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
営業収益	2,009	1,927	82	—
営業利益	900	944	△ 44	—

(主な増減内容)

・土地建物賃貸業は、当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致を進め収益の拡大に努めるとともに、土地建物販売業は、神戸市北区の販売土地を売却しました。

また、2021年4月より神戸市から「神戸市新長田駅前駐車場(神戸市長田区)」の管理運営業務を新たに受託しました。

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、増減率は記載しておりません。



## セグメント情報(流通業)

(単位 百万円)

	2022年3月期 実績 (A)	2021年3月期 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
営業収益	5,237	6,132	△ 895	—
営業利益	38	71	△ 33	—

(主な増減内容)

・食品スーパー業は、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。

また、顧客層の拡大と増収を図るため、2022年3月よりクレジットカード決済を導入しました。

しかしながら、前連結会計年度に見られたいわゆる「巣ごもり需要」の反動減などにより減収・減益となりました。

\*当連結会計年度の期首より、収益認識に関する会計基準を適用しており、食品スーパー業における代理人取引については、従来は、総額で収益認識しておりましたが、純額で収益認識することとしたため、上記の営業収益の減少額には、当該影響額として△575百万円が含まれております。なお、営業利益に与える影響はありません。

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、増減率は記載しておりません。

## セグメント情報(その他)

(単位 百万円)

	2022年3月期 実績 (A)	2021年3月期 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
営業収益	3,090	3,101	△ 11	—
営業利益	166	359	△ 193	—

(主な増減内容)

- ・建設業は、完成工事高の減少等により減収・減益となりました。
- ・保育事業及び健康事業は、駅に近接する各施設の強みを活かしてご利用者の増に努めました。

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、増減率は記載しておりません。

### 3. 2022年3月期 連結貸借対照表

(単位 百万円)

	2022年3月期	2021年3月期	増減額	主な増減内容
流動資産	5,988	5,704	284	売掛金の増 +368
固定資産	86,362	87,190	△ 828	有形固定資産の減 △1,133
資産合計	92,351	92,894	△ 543	
負債合計	71,724	72,719	△ 995	借入金の減 △1,638 買掛金の増 +662
純資産合計	20,626	20,174	452	利益剰余金の増 +472 ※自己資本比率 22.3%(対前期末 +0.6%)
負債純資産合計	92,351	92,894	△ 543	

#### 4. 2022年3月期 連結キャッシュ・フロー

(単位 百万円)

	2022年3月期	2021年3月期	増減額	主な増減内容
営業活動による キャッシュ・フロー	2,809	1,884	925	税金等調整前当期純利益 +283 仕入債務の増減額 +1,290 売上債権の増減額 △326
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,073	△ 1,364	291	有形固定資産の取得による支出 +809 投資有価証券の取得による支出 △300 工事負担金等受入による収入 △318
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,840	△ 328	△ 1,512	借入金の減 △1,489
現金及び現金同等物の増減	△ 104	191	△ 295	
現金及び現金同等物の期首残高	1,360	1,168	192	
現金及び現金同等物の期末残高	1,256	1,360	△ 104	

(参考)

	2022年3月期	2021年3月期	増減額
税金等調整前当期純利益	644	361	283

## Ⅱ. 2023年3月期 業績予想

---

## 1. 2023年3月期 連結(通期)業績予想

(単位 百万円)

	今回 (A)	2022年3月期 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)	主な増減内容
営業収益	21,640	20,517	1,123	5.5	鉄道事業を中心とする運輸業の利用者数の増加による増収
営業利益	1,500	1,065	435	40.8	運輸業の収支改善による増益
経常利益	930	652	278	42.6	
親会社株主に帰属する 当期純利益	590	519	71	13.7	

## 2. 連結業績予想 セグメント別

(単位 百万円)

		今回 (A)	2022年3月期 実績 (B)	増減額 (A - B)
運 輸 業	営 業 収 益	12,618	11,429	1,189
	営 業 利 益	519	△ 46	565
不 動 産 業	営 業 収 益	2,068	2,009	59
	営 業 利 益	848	900	△ 52
流 通 業	営 業 収 益	5,186	5,237	△ 51
	営 業 利 益	36	38	△ 2
そ の 他 の 事 業	営 業 収 益	3,005	3,090	△ 85
	営 業 利 益	110	166	△ 56

(注) 上記のセグメントの合計値は、セグメント間取引消去があるため、連結業績予想の「営業収益」及び「営業利益」に一致しません。

※連結業績予想の主な前提(2019年度実績比)

・運輸業 鉄道事業 (旅客収入合計 △10% 定期外収入 △12% 定期収入 △8%)